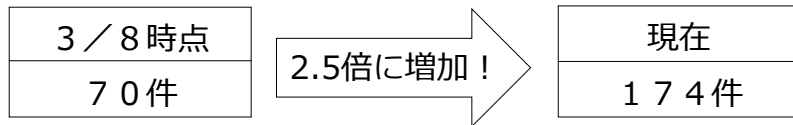


熊本県のPCR検査体制について

全国4位の検査実績！

- 本県がこれまでに実施してきたPCR検査の総実施件数は5,000件を上回り、人口に対する検査率は全国4位です。
- 現状において、医師が感染を疑って、検査が必要と判断した場合に、十分に対応できる体制が整っています。

【1日あたりの検査可能件数】



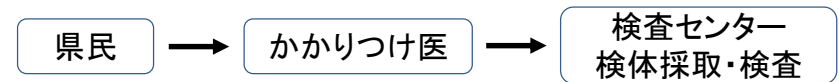
全国に先駆けて検査対象を拡大！

- 本県では、独自に検査対象範囲を拡大し、国の基準よりも幅広く検査を実施しています。
- これにより、患者の早期発見やクラスター拡大の早期察知を実現しています。

国の基準	患者と濃厚接触あり	+	症状あり	+	14日以内
本県の新基準 (3月11日～)	弾力的運用による要件緩和				
	「クラスターの一員」でも可		「症状なし」でも可		「15日以上」でも可

検査件数の拡大！

- 検体採取と検査を実施する「PCR検査センター」の設置に向けた検討を、2地域（熊本市・菊池地域）で進めています。



- 医療機関における検査も天草地域で実施されています。



安全な検査体制の確保！

- 院内感染防止のため、5地域（宇城、荒尾・玉名、上益城、八代、天草）において専用のプレハブ診療棟等を設置し、検体採取を行っています。
- また、6地域（熊本市、宇城、荒尾・玉名、菊池、阿蘇、球磨）においては、ドライブスルー方式での検体採取の実施実績があります。

第2波に備えた体制強化

保健所単位で更なる強化